

大隅教育事務所だより

【一隅を照らす山と野と者の教育】



錦江町 神川海岸の夕日

第1号

平成29年
5月30日
発行

熱い使命感と職責感をもち、大隅っ子に誠実に向き合う教職員として

大隅教育事務所長 宮田 研郎

朝の通勤時に、よく聴いていたラジオ番組がありました。毎回、「先生からもらった忘れられない一言」を取り上げている短い番組です。悩みや迷い、苦しみを救ってくれた言葉、背中を後押してくれた言葉、人として大事なことに気づかせてくれた言葉…。番組では、それら教師の言葉をめぐるエピソードも紹介され、毎回、教師と児童生徒の心の交流の温かさに感動していました。

私たちが子供たちへ伝える言葉は、一人の人間の人生を変える一言となったり、一人の人間の一生を支える一言となったりします。そう思うたびに、この職の重さを痛感してしまいます。

先日、県から7月に実施される教員採用選考試験の要項が出されました。この要項を見ると思い出すのは、指導技術は未熟、しかし、教育に対する情熱は誰もが人一倍であった新採時代の頃のことです。あれから時が経ち、自分たちはどれだけ成長してきたのか…。要項の表紙に述べられた本県が望む教師像、『心身ともに健やかで、明朗活潑な教師』、『高い専門性と幅広い教養をもち、謙虚に学び続ける教師』、『情熱と使命感にあふれ、教育的愛情をもつ教師』、『人間性豊かで的確なコミュニケーション能力をもつ教師』としての力を身に付けてきたのかなど、いろいろ考え込んでしまいます。

子供たちがもてる力を余すことなく十二分に発揮するには、管内すべての教職員が熱い使命感と職責感をもち、一人一人の子供と誠実に向き合うことが必要です。

大隅っ子が力強く未来を切り拓くための資質・能力をより一層育むために、管内の全職員が一丸となって取り組んでいきましょう。

【 地区教育課題1～4 】

最重点課題◎，重点課題○ごとに『目標』を紹介します。

◎確かな学力の向上

- ・地区全体として、県平均への到達
- ・各学校では通過率が3ポイント向上するよう「どの子もあと一問」
- ・基礎的・基本的な知識や技能の習得、思考力等の育成

◎不登校の改善

- ・不登校在籍率 小学校0.25%，
中学校3.00%未滿
- ・新規在籍率 小学校0.12%，
中学校1.05%未滿
- ・不登校在籍校では1人以上の改善・解消

◎体力・運動能力の向上

- ・「体力アップ！チャレンジかごしま」で、小中学校全ての学級が1種目以上の取組
- ・体力運動能力調査の効果的活用
- ・楽しい(保健)体育科学習のための指導力向上

◎家庭の教育力向上

- ・全市町で家庭教育支援員の養成と活用
- ・「守ります！9時オフ」実践校による取組の推進
- ・啓発資料等を活用した学習機会の拡充

様々な研修を通して、

目標達成に向かいます。

【 研修会等紹介 】

4～5月に行われた様々な研修会の一部を紹介します。



【フレッシュ研修実施校校長等連絡協議会】
4月20日(木)

運営面の確認や初任校研修充実のための協議等を行いました。



【地区臨時的任用教員研修会】5月18日(木)

鹿屋市立寿小学校で授業を通じた研修を行いました。



【校長研修会】4月28日(金)
【教頭研修会】5月26日(金)

校長研修会では、県教育庁教職員課人事管理監の岩越先生に、教頭研修会では県立楠単中・高等学校長の秋元校長先生に御講話をいただきました(写真は教頭研修会のグループ協議)。



【地区生徒指導主任等研修会】5月23日(火)

「不登校の改善」等の協議がなされました。

大隅教育事務所職員紹介(事務分掌)

今年度もどうぞ宜しくお願いします。

※ ゴシック体は転入

所長 宮田 研郎 【総務課】 課長 高吉 光浩 係長 竹之内弘隆 主事 永吉 玲未 (庶務) 主事 斜木 吉夫 (給与) 主事 財満 翔吾 (給与)	【管理課】 課長 迫田健一郎 専門員 井手口 勉 主事 池之上勝太 主事 東窪 勇介 【指導課】 課長 安楽 省吾 主任指導主事 川口孝 (保健体育)	指導主事 喜岡 達也 (社会教育) 指導主事 平川 貴之 (学校教育) 指導主事 橋元 忠史 (") 指導主事 田子山 ゆかり (") 指導主事 黒川 周一 (") 指導主事 西小野智広 (保健体育) 指導主事 出水澤 孝洋 (社会教育指導員) 団体書記 中倉 望
--	--	---

使える!使おう! 終末ベーシック!

学習指導要領の改訂で明らかになった新しい時代に必要となる資質・能力を確かに身に付けさせるために、日々の授業改善への取組は、教壇に立つ者の最大の使命となります。そこで、今回の特集では、大隅地区の授業改善の一つの指針になればとお示ししてきた「大隅終末ベーシックリーフレット」の活用について取り上げます。年度初めにリーフレット3をお届けしました。まずは、日々の授業を構想する際に、学習指導要領や教科書と併せて、机上に拡げて、活用してください。

終末ベーシックとは?

日々行う毎時間の授業について教材研究をする時間は限られます。その中で目標を達成する授業を積み上げるためには、終末で児童・生徒がどのような「まとめ」にするかを想定することから授業設計を行うことが効果的と捉えています。

それが「終末」→「導入」→「展開」という流れで授業をデザインする「大隅終末ベーシック」の考え方です。

単なる「話し合い・説明」からの脱却を！
配付済みのリーフレット3の中開面で、そのヒントをぜひ確認してください。

グラフ作成ソフトは、授業改善の視点を
見いだすヒントに！
「今週の1問」も毎週配信中ですのでぜひ活用を！

大隅終末ベーシックリーフレット3
“どの子どもあと1問”
「学び合い」を取り入れた授業改善をめざして
平成29年度版

大隅終末ベーシック

—終末から授業をデザインする—

教材研究の流れ(①→②→③)

- 【導入】学習目標(めあて)の設定 ②
キーワード:「まとめ」と「めあて」の整合性
- 【展開】学習活動の設定 ③
キーワード:「考えの記述」「学び合い」の設定
- 【終末】まとめの確実な板書 ①
キーワード:「思考を整理」と「確実な見届け」

平成28年度の重点と成果・課題

- 【重点】「考えの記述」「話し合い・説明の活動」の設定
- 【成果】「考えの記述」や「ペア・グループ活動を通じた話し合い・説明の活動」については、意識的に取り入れた授業が多くなってきている。
- 【課題】話し合う内容が不明確なまま、何となくペア・グループ活動に移ったり、個々の考えを発表するだけで終わったりしている授業も見られる。

平成29年度の重点

「学び合い」を取り入れて、
「主体的・対話的で、深い学び」のある授業へ

【大隅地区学力向上のための3つの取組】

- 「大隅終末ベーシックリーフレット3」をもとにした授業構成(授業改善)
- 「グラフ作成ソフト」による授業点検(授業改善)
- 「今週の1問」の効果的な活用(確実な定着)

大隅終末ベーシックにもとづいた授業づくり ~考えを発表し合うだけでなく、「学び合い」を取り入れ、「そうか!」「なるほど!」のある授業にしましょう~

<p>めあての提示</p> <p>「めあて」のポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「ねらい」(本時の目標)の明確化 ② 「まとめ」の設定 ③ 「めあて」の設定 <p>子どもが本気で考えたい学習課題を工夫し、問題意識を焦点化させましょう。また、問題解決的な学習では、「疑問形式のめあて」を工夫させることによりまとめの際に、振り返ることができます。</p>	<p>重要 「学び合い」活動の設定</p> <p>考えの記述</p> <p>考えの記述のポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 考えを記述する場の設定 ② 考えるための情報の与え方の工夫 ③ 考えが浮かばない児童生徒への対応 <p>自分の考えをもたせ、記述させましょう。机間指導をしながら、児童生徒の考えを把握しましょう。丸付けを行うことにより、グループ活動において自信をもって話し合うことができるようになります。</p> <p>時間を設定し、途中まででもOKとしましょう。</p>	<p>重要</p> <p>学び合い</p> <p>学び合いのポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 話し合う内容の明確化 ② ペア・グループ活動の選択 ③ 話し合いのルール・雰囲気づくり ④ 学び合いにつなげる問いの工夫 ⑤ そうか!なるほど!のある学び合い <p>机間指導をしながら、「なぜ、そう考えたの」「共通する考えは」等の発問を積極的にを行い、グループによる学び合いを活性化させましょう。また、全体での学び合い(振り返り)における思考の整理に効果的な発表順を考えましょう。</p>	<p>まとめの板書</p> <p>まとめのポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 自分のまとめ ② ポイントを整理した教師によるまとめ <p>教師のまとめは、ポイントを整理し、児童生徒が納得できるようにまとめましょう。</p>	<p>達成状況の確認</p> <p>達成状況の確認のポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 本時のねらいへの達成状況把握 ② 具体的な問題による確認 ③ 自己評価 ④ 他者評価 <p>この時点で目標(ねらい)の達成状況をめざします。ねらいに到達していない児童生徒がいたら、必ず補充指導を行います。そのためには、授業終末で簡易な確認テストを行い、補充指導が必要な児童生徒(の状況)を把握することが必要です。</p> <p>「わかった」「できた」の見届けまでしましょう。</p>
--	--	---	--	--

1学期に重点とするのは!

<重点①> 短時間でも必ず毎時間、自分の考えを記述する場面を!

<重点②> 単元・題材のまとまりの中の効果的な場面で、1箇所は「学び合い」活動を位置付けよう!

ホームページからダウンロードできます!



検索

大隅教育事務所